

令和6年度

教育訓練実施計画



愛媛県消防学校

校 訓

職 責 の 自 覚

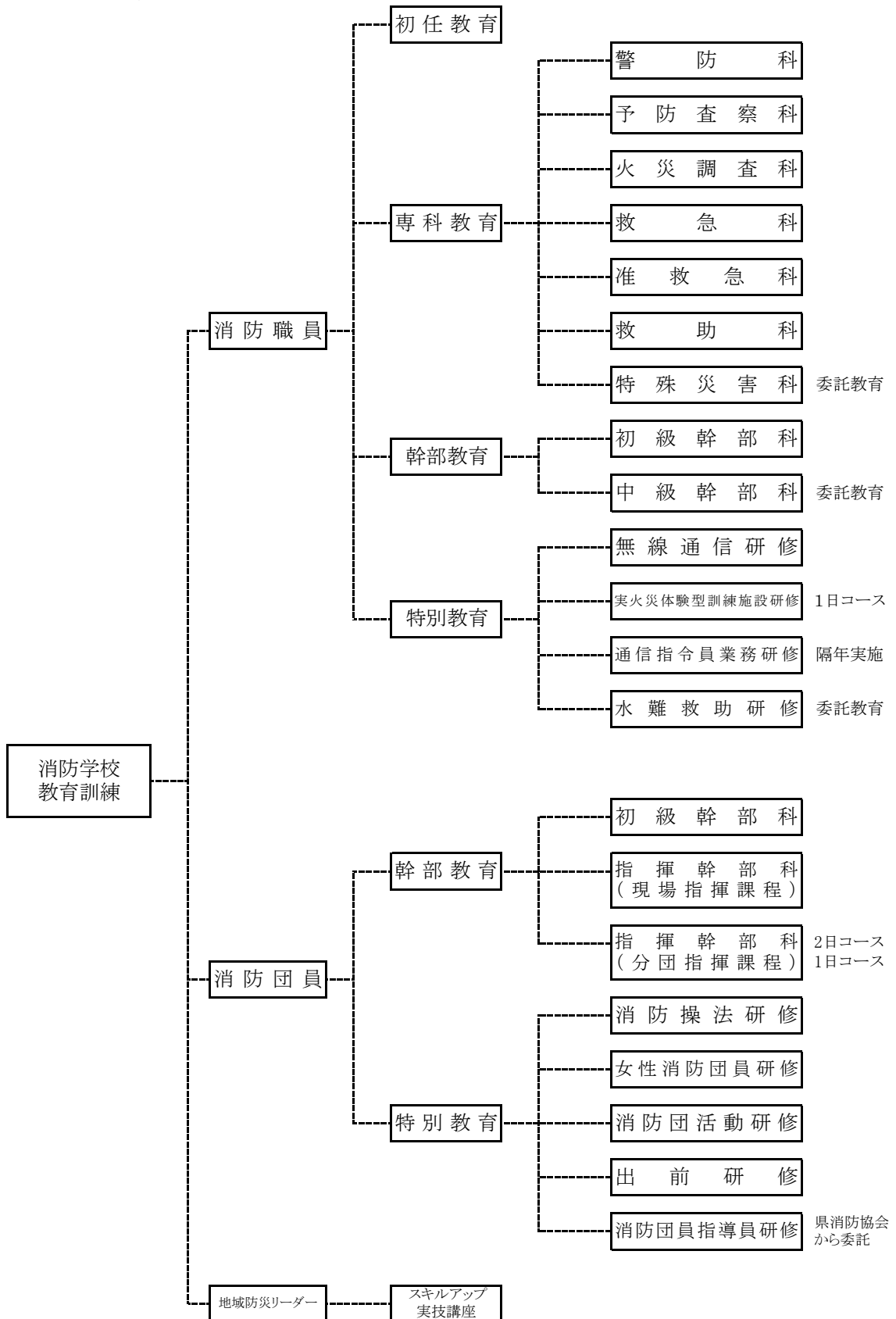
厳正な規律と団結

心 身 の 鍛 練

1 教育の目的及び基本方針

社会情勢の変化や技術の発展、災害の多様化・大規模化に的確に対応するため、消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、もって適切公正にして、安全かつ能率的に職務を遂行し得る消防職員及び消防団員の資質の向上を目的とし、有能な消防人を育成する。

2 消防学校教育訓練体系図



3 教育訓練課程とその概要

(1) 消防職員を対象とする教育訓練

教育訓練課程		入校人員	実施期間	実日数	時間数	教育訓練の目的
初任教育		72	6.4.4(木) ～6.9.20(金)	116	812	新規に採用された職員を対象に、法学、理化学等の基礎教育及び消火・救助・救急等の実科訓練を行い、消防活動全般に対応しうる消防職員を養成する。
専科教育	警防科	30	6.10.28(月) ～6.11.8(金)	9	63	警防隊員を対象に、各種火災現場活動における高度な知識と技能、特殊災害における活動要領等を修得させる。
	予防査察科	30	6.11.25(月) ～6.12.6(金)	10	70	予防査察担当者を対象に、査察要領や違反処理等に関する専門的な知識と技能を修得させる。
	火災調査科	30	6.12.9(月) ～6.12.20(金)	10	70	火災調査担当者を対象に、各種実験や模擬火災現場から、火災調査要領に関する専門的な知識と技能を修得させる。
	救急科	72	7.1.14(火) ～7.3.6(木)	36	252	救急業務に従事することとなる職員を対象に、救急隊員として必要な基礎的医学知識や応急処置等の救急業務に関する高度な知識と技能を修得させる。
	准救急科	8	7.2.17(月) ～7.3.7(金)	14	94	消防法施行令第44条第2項に規定する実施計画を定めた市町において、准救急隊員として必要な救急業務に関する基礎的な知識と技能を修得させる。
	救助科	30	6.9.24(火) ～6.10.25(金)	23	161	救助隊員を対象に、救助の専門的知識や活動要領、地震・特殊災害等の大規模災害に対応するための知識と技能を修得させる。
	特殊災害科 【香川県消防学校へ委託】	4	7.3.10(月) ～7.3.19(水)	8	56	特殊・特異な災害現場における消防活動の展開に必要な、特殊物質に関する専門的知識と技能、災害の態様に応じた消防活動要領を修得させる。
幹部教育	初級幹部科	30	6.11.11(月) ～6.11.21(木)	9	63	消防司令補又は消防士長の階級にある職員を対象に、初級幹部に必要な現場指揮、訓練指導、人事業務管理等に関する知識と技能を修得させる。
	中級幹部科 【岡山県消防学校へ委託】	5	7.1.8(水) ～7.1.17(金)	7	49	組織の管理運営や現場活動の安全管理など職場における監督者としての幅広い知識を修得させ、中級幹部にふさわしい消防職員を養成する。
特別教育	無線通信研修	20	6.6.20(木)	1	7	無線従事者として必要な第三級陸上特殊無線技士の資格を取得させる。(初任教育と合同受講)
	実火災体験型 訓練施設研修 (1日コース)	60 15×4	7.2.5(水) 7.2.13(木) 7.2.19(水) 7.2.26(水)	1 1 1 1	7	実火災体験型訓練施設を使用し、火災性状等に関する知識や熱環境下における高度な注水技術等を修得させる。
	通信指令員 業務研修 (隔年実施)	30	7.3.11(火) ～7.3.14(金)	4	24	通信指令員又は通信業務に従事する消防職員を対象に、通信指令業務の役割を理解し、通信指令員に必要な知識やコミュニケーション能力の向上を図り、質の高い口頭指導技術を修得させる。
	水難救助研修 【山口県消防学校へ委託】	1	6.8.6(火) ～6.8.23(金)	13	89	潜水士免許を取得して3年以上の水難救助隊員を対象に、水難救助に関する広範囲で高度な知識と技術の習得及び現場指揮能力と資機材の点検整備や訓練企画力の涵養を目的とする。

(2) 消防団員を対象とする教育訓練

教育訓練課程		入校人員	実施期間	実日数	時間数	教育訓練の目的		
幹部教育	初級幹部科	50	6.10.5(土) ～6.10.6(日)	2	12	原則として、班長の階級にある消防団員を対象に、幹部に必要な指揮要領等の知識と技能を修得させる。		
	指揮幹部科	現場指揮課程	50	6.12.7(土) ～6.12.8(日)	2	14	原則として、部長以上の階級にある消防団員を対象に、現場指揮、安全管理、大規模災害時における幹部に必要な知識と技能、防災指導要領を修得させる。	
		分団指揮課程	2日コース	50	6.11.9(土) ～6.11.10(日)	2	10	原則として、部長以上の階級にある消防団員を対象に、分団指揮者の職責、消防団の役割、分団の管理運営、災害現場活動の部隊の安全管理等、幹部に必要な知識と技能を修得させる。
			1日コース	50	6.11.23(土)	1	6	
特別教育	消防操法研修	90 30×3	7.1.15(水)	1	7	訓練礼式、消防ポンプの点検・整備及びポンプ操法の技能を修得させる。		
			7.1.21(火)	1				
			7.1.28(火)	1				
	女性消防団員研修	50	6.11.2(土)	1	7	女性消防団員を対象に、訓練礼式、消防制度、応急手当等の知識と技能を修得させる。		
	消防団活動研修	150 50×3	通年	1	7	市町の要請により、オーダーメイド型の教育訓練として消防団が希望する特定な課題・分野に関する教育カリキュラムを企画・編成し実施する。		
出前研修	150 50×3	通年	1	3	市町の要請により、学校教官を現地に出向させ、地域防災対策の知識を修得させる。			
消防団員指導員研修 【愛媛県消防協会から委託】	50	6.10.19(土) ～6.10.20(日)	2	13	消防団員の育成、指導を図るために、指導者として必要な現場指揮・指導要領等の知識と技能を修得させる。			

(3) 地域防災リーダー

教育訓練課程	入校人員	実施期間	実日数	時間数	教育訓練の目的
スキルアップ実技講座	90 30×3	6.8.10(土)	1	6	防災士や自主防災組織の役員等を対象として、浸水対応訓練や消防防災活動など、専門的な技術や知識を習得させる。
		6.9.28(土)	1		
		6.10.26(土)	1		

4 教科目・時間数

(1) 消防職員

①初任教育 【 R6. 4. 4 (木) ~9. 20 (金) 】

教科目		時間数	目 標	予定講師
基礎教育	倫 理	5	公務員倫理及び消防の本質と任務、自治体消防の沿革と基本、消防の社会的使命と責任について理解させる。	消防学校
	法学基礎・消防法	20	消防関係法令を理解するために必要な基礎的知識(法の目的と用語の定義、火災予防・危険物・消防用設備・火災警戒・消火活動・火災調査・救急業務に関する規定等)を養う。	部外講師 消防学校
	消 防 組 織 制 度	9	消防組織制度の概要、国・県・市町の消防組織及び消防財政や他機関との関係、緊急消防援助隊制度等について理解させる。	消防学校
	服 務 と 勤 務	28	地方公務員制度の概要、消防実務、勤務条件、文書実務、情報公開と個人情報、待遇、事故防止、人権啓発について理解させる。	部外講師 消防学校
	理 化 学	10	物理、化学、電気、燃焼と消火等に関する知識を養う。	部外講師
実務教育	予 防 広 報	20	防火・防災管理制度の概要、防火・防災指導、消防広報、自主防災に関する知識を養う。	消防学校
	危 険 物	8	消防法で指定される危険物、指定可燃物等の貯蔵及び取扱い等の基準、危険物施設の規制等に関する知識を養う。	消防学校
	消 防 用 設 備	12	消防用設備等の規制の概要、主要な消防用設備等の基準、着工届、検査等に関する知識を養う。	消防学校
	査 察	27	査察の概念と法的根拠、防火対象物査察要領、違反処理の区別・要領等に関する知識を養う。	消防学校
	建 築	10	建築構造、建築法令・規制、消防活動上の規制、建築図書の見方等に関する知識を養う。	消防学校
	安 全 管 理	16	安全管理の概要、業務活動別の安全管理、メンタルヘルス、惨事ストレスに関する知識を養う。	消防学校
	特殊災害と保安	10	特殊災害の概要、活動要領に関する知識を養う。	部外講師
	火 災 防 ぎ よ	30	火災防ぎよの概要、建物火災、建物以外の火災防ぎよに関する知識を養う。	消防学校
	火 災 調 査	15	火災原因調査・損害調査要領、火災調査書類作成要領に関する知識を養う。	消防学校
	防 災	23	災害対策基本法の概要、気象と災害、水災防ぎよ、地震対策に関する知識を養う。	部外講師
	救 急	50	救急関係法令、救急医療体制、医学的基礎知識、応急処置、救急実務等の知識と技能を養う。	消防学校
	消防機械・ポンプ	10	消防用自動車及び可搬消防ポンプの運用、水力学について理解させる。	消防学校

教科目		時間数	目 標	予定講師
実科訓練	訓練礼式	50	訓練礼式の基準を理解させ、厳正な規律の保持及び秩序ある団体行動の基本と礼式を修得させる。	消防学校
	消防活動訓練	82	消防活動の基本となる消防操法・消火活動、検索・救出訓練、警戒区域の設定、現場広報、水防工法等の技能を修得させる。	消防学校
	救助訓練	45	救助活動に必要な基礎知識、ロープ取扱技術、救助操法等の技能を修得させる。	消防学校
	機器取扱訓練	55	各種消防資器材の諸元・性能、取扱要領、保守管理要領等の知識と技能を修得させる。	消防学校
	消防活動応用訓練	85	消火活動・救助活動訓練、火災総合訓練(想定訓練)、救急救助総合訓練(想定訓練)等の実践的訓練を実施し、その技能を修得させる。	部外講師 消防学校
	体 育	55	消防職員に求められる体力を養うとともに、体調管理、トレーニング計画・要領・実践、障害の予防、疲労回復等の知識と技能を修得させる。	消防学校
その他	実務研修	35	所属消防署での当直勤務、毎日勤務の実習を行う。	各所属 消防学校
	選択研修	52	第三級陸上特殊無線技士の資格を取得させる。 社会教育及び地域災害教育について理解させる。 他県消防学校と合同研修を実施し、体力、気力、技能の向上と相互の交流を図る。 消防救助技術指導会を視察し、意識の高揚と技能向上の糧とする。	部外講師 消防学校
	行事その他	50	入校式、卒業式、オリエンテーション、実科査閲(実技訓練発表会)、体力測定、施設見学(消防機関・関連施設等)等を実施する。	消防学校
計		812		

※基礎教育、実務教育及び実科訓練に係る効果測定は時間数に含む。

※教科目「消防活動応用訓練」に、実火災体験型訓練を含む。

②専科教育「警防科」 【 R6.10.28（月）～11.8（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	公務員倫理及び警防担当者としての職責と心構えについて理解させる。	消防学校
防 災	3	災害対策基本法、水防法の概要及び国民保護等の知識を修得させる。	部外講師
警 防 対 策	12	警防行政の現状と課題、各種災害対策の概要、建物構造別の火災防ぎよ、化学物質災害の初動対応等の知識と技能を修得させる。	部外講師
消 防 戦 術 と 安 全 管 理	13	災害現場指揮の要領(多数傷病者発生事故を含む)、安全管理についての知識と技能を修得させる。	部外講師 消防学校
図 上 訓 練	10	各種災害を想定した訓練を企画立案、実施、検証させ、部隊を適切かつ効果的に指揮・運用するための知識と技能を修得させる。	消防学校
実 技 訓 練	15	各種災害を想定した基本・応用訓練を実施し、各消防戦術の技能を修得させる。	消防学校
事 例 研 究	3	消防戦術、特異災害、安全管理、警防行政、訴訟事例等の研究討議を行い、問題解決能力の向上を図る。	消防学校
健 康 管 理	3	消防職員に必要な体力、メンタルヘルスと惨事ストレスについての知識と対応策等を修得させる。	部外講師
効 果 測 定	2	各教科目の考査により理解度を確認する。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	63		

※教科目「実技訓練」に、実火災体験型訓練を含む。

③専科教育「予防査察科」 【 R6. 11. 25（月）～12. 6（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	公務員倫理及び予防査察担当者としての職責と心構えについて理解させる。	消防学校
予 防 査 察 行 政 の 現 状 と 課 題	1	予防査察行政の現状と課題、消防関係法令の改正内容について理解させる。	部外講師
消 防 同 意	6	建築行政と消防行政との関係、消防同意制度、防火に関する建築規制、消防同意の要領と留意事項についての知識を修得させる。	部外講師
査 察	24	防火対象物の用途別の査察要領、建築物の構造規制、防火管理制度の概要、消防用設備等の構造機能について理解させ、火気使用設備、電気設備、少量危険物施設、指定可燃物施設の査察要領、査察計画の策定、査察執行状況の管理についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
危 険 物 規 制	7	危険物施設の規制と査察要領、危険物の貯蔵・取扱いの技術上の基準についての知識を修得させる。	部外講師
違 反 処 理	14	違反処理の概要、違反処理の手続、違反処理要領についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
査 察 ・ 違 反 処 理 実 習	8	防火対象物・危険物施設の査察・違反処理実習を行い、査察能力の向上を図る。	消防学校
事 例 研 究	6	違反処理、査察、災害、消防用設備設置指導事例等の研究討議を行い、問題解決能力の向上を図る。	部外講師 消防学校
効 果 測 定	2	各教科目の考査により理解度を確認する。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	70		

④専科教育「火災調査科」 【 R6. 12. 9（月）～12. 20（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	公務員倫理及び火災調査担当者としての職責と心構えについて理解させる。	消防学校
原因調査規	6	消防法関係(原因調査の責任と権限、放火捜査と原因調査、消防及び警察の協力)、原因調査に係る関係法規等についての知識を修得させる。	部外講師
原因調査	25	原因調査の項目・手段、燃焼理論と火災の特性、現場調査の進め方、各種火災の原因調査要領、延焼拡大要因の調査要領、死傷者発生時の現場調査要領等についての知識と技能を修得させる。	部外講師
損害調査	6	損害の種別と調査項目、焼損程度とり災程度、火災による死傷者、現場の損害調査の進め方、損害額の評価と算出基準についての知識を修得させる。	部外講師
鑑 定	2	鑑定の概念、鑑定の実施要領についての知識と技能を修得させる。	部外講師
調査実習	7	模擬火災の室内の焼き状況の見分、発掘等の実習により、実況見分要領の知識と技能を修得させる。	部外講師 消防学校
調査書類	14	火災調査に関する必要な書類の作成要領、重要ポイントを理解させ、調査書類の作成能力の向上を図る。	部外講師 消防学校
事例研究	6	特異火災、調査書類作成、訴訟事例等の研究討議を行い、火災調査・書類作成能力の向上を図る。	消防学校
効果測定	2	各種教科目の考査により理解度を確認する。	消防学校
行事その他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	70		

⑤専科教育「救急科」 【 R7.1.14（火）～3.6（木）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
救急業務及び救急医学の基礎	50	救急業務の総論、医学概論、解剖・生理、社会保障・社会福祉、救急実務及び関係法規に関する基礎知識を修得させる。	部外講師 消防学校
応急処置の総論	73	応急処置の総論・各論を理解させ、観察、検査、救急医療・災害医療についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
病態別応急処置	67	傷病者の病態別(心肺停止、ショック・循環不全、意識障害、出血、一般外傷、頭部、頸椎損傷、熱傷、電撃傷、中毒、溺水、異物)の応急処置についての知識を修得させる。	部外講師
特殊病態別応急処置	25	小児、新生児、高齢者、産婦人科・周産期、精神障害、その他の創傷の応急処置等についての知識を修得させる。	部外講師
実習及び効果測定	36	救急用資器材の操作法・保管管理・消毒、シミュレーション実習を行い知識と技能を修得させる。 救急病院実習、所属での救急車同乗研修を実施する。 学科・実技考査により理解度を確認する。	部外講師 各所属 消防学校
行事その他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	252		

⑥専科教育「准救急科」 【 R7.2.17（月）～3.7（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
救急業務及び救急医学の基礎	15	救急業務の総論、医学概論、解剖・生理、救急実務及び関係法規に関する基礎知識を修得させる。	部外講師 消防学校
応急処置の総論	42	応急処置の総論・各論を理解させ、観察、検査についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
病態別応急処置 特殊病態別応急処置	15	傷病者の病態別(心肺停止、ショック・循環不全、意識障害、出血、一般外傷、頭部、頸椎損傷、熱傷、電撃傷、中毒、溺水、異物)の応急処置についての知識を修得させる。 小児、新生児、高齢者、産婦人科・周産期、精神障害、その他の創傷の応急処置等についての知識を修得させる。	部外講師
実習及び効果測定	21	救急用資器材の操作法・保管管理・消毒、シミュレーション実習を行い知識と技能を修得させる。 救急病院実習、所属での救急車同乗研修を実施する。 学科・実技考査により理解度を確認する。	部外講師 各所属 消防学校
行事その他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	94		

⑦専科教育「救助科」 【 R6.9.24（火）～10.25（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	公務員倫理及び救助隊員としての職責と心構えについて理解させる。	消防学校
安 全 管 理	21	安全管理に係る関係法令、災害関係機関との連絡・連携方法、救助活動・訓練における安全管理についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
災 害 救 助 対 策	23	災害救助対策の概要、緊急消防援助隊等の他機関との連携、各種災害種別の救助対策と活動事例についての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
救 急	5	外傷処置、多数傷病者発生時の対応・処置要領についての知識と技能を修得させる。	部外講師 消防学校
救助器具取扱訓練	21	一般救助用、重量物排除、切断用、破壊用、検知・測定用、呼吸保護用、隊員保護用、山岳救助用、検索用、その他の救助用器具取扱についての知識と技能を修得させる。	消防学校
救 助 訓 練	30	高所・低所からの救助、火災時・交通事故・震災時における救助、その他の事故における救助、救急隊・航空隊との連携についての技能を修得させる。	部外講師 消防学校
総 合 訓 練	30	高所・低所救助、火災対応、多数傷病者発生事故救助、特殊災害対応、震災時対応の想定訓練により技能の向上を図る。	部外講師 消防学校
健 康 管 理	3	体力管理におけるトレーニング理論、障害の予防、疲労回復等、メンタルヘルス、惨事ストレスについての知識を修得させる。	部外講師 消防学校
校 外 研 修	21	緊急消防援助隊派遣活動を想定した連続的な救助活動、RC共同住宅訓練塔による実践的の火災救助等を実施することにより、その技能の向上を図る。	消防学校
効 果 測 定	5	学科・実技考査により理解度を確認する。	消防学校
行 事 ・ そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	161		

※教科目「総合訓練」に、実火災体験型訓練を含む。

⑧幹部教育「初級幹部科」 【 R6.11.11（月）～11.21（木）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	公務員倫理及び初級幹部としての職責と心構えについて理解させる。	消防学校
訓 練 礼 式	2	部下指導に必要な訓練礼式、通常点検要領等の技能を修得させる。	消防学校
消 防 時 事・財 政	10	消防行政の現状と課題、消防関係法令の改正内容、地方財政と消防財政の仕組み、消防財政の現状と課題等について理解させる。	部外講師
人 事 業 務 管 理	10	組織と監督すべき事項、人権啓発、情報公開と個人情報保護、健康管理指導等についての知識を修得させる。	部外講師
安 全 管 理	9	公務災害の発生状況と傾向、組織・災害現場における安全管理体制、事故発生時の措置要領、再発防止について理解させる。	部外講師 消防学校
現 場 指 揮	18	災害現場の指揮者の任務と指揮本部等の知識、現場指揮要領、緊急消防援助隊との連携等の技能を修得させる。	部外講師 消防学校
事 例 研 究	12	人事管理、安全管理、特異災害、苦情、訴訟事例等の研究討議を行い、問題解決能力の向上を図る。	部外講師 消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	63		

※教科目「安全管理」に、実火災体験型訓練を含む。

⑨特別教育「無線通信研修」 【 R6.6.20（木）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
無 線 法 規	4	無線従事者として必要な無線法規(電波法・無線局運用規則等)の知識を修得させる。	部外講師
無 線 工 学	2	無線従事者として必要な無線工学の知識を修得させる。	部外講師
国 家 試 験	1	無線従事者として必要な第三級陸上特殊無線技士の資格取得試験を行う。	部外講師
計	7		

⑩特別教育「実火災体験型訓練施設研修」

1日コース 【 R7.2.5（水）、2.13（木）、2.19（水）、2.26（水）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
訓練目的と安全管理	1	熱環境下における熱、煙などの体験と、火災性状が学べる有効な訓練であることを正しく理解させ、フラッシュオーバーによる受傷事故を未然に防ぐことを理解させるための知識を修得させる。	消防学校
安全指針と火災性状	1	実科訓練にあたっての、火災性状と用語説明、熱環境下における生理的影響と対策、注水理論、フラッシュオーバー回避テクニック等の知識を修得させる。	消防学校
個人装備の意義	1	消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインについて学び、個人防火装備の性能及び個人防火装備の着装等、安全に消火活動を行うための知識を理解させる。	消防学校
実火災体験訓練	3	実火災体験型施設で防火衣着装、放水訓練、呼吸器着訓練を行ない、火災性状を理解するとともに、消火活動訓練等を通じて熱環境下における注水技術等を修得させる。	消防学校
行事その他	1	オリエンテーション、修了証交付等	消防学校
計	7		

⑪特別教育「通信指令員業務研修」 【 R7.3.11（火）～3.14（金）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
通信指令業務	5	通信指令業務の役割を理解するとともに、救急業務への関わりや病院前救護におけるメディカルコントロールの重要性と役割を理解させる。	部外講師
意見交換 ディスカッション	2	各消防本部における通信指令員教育体制の現状及び情報交換を実施する。	部外講師 消防学校
通信指令員に必要な医学的知識	2	疫学、生命の維持、緊急度の高い病態、心停止に移行しやすい病態、心肺蘇生ガイドライン2020、AED、その他の口頭指導対象病態など通信指令員に必要な医学的知識を修得させる。	部外講師
電話接遇	2	通信指令業務における接遇を意識した電話対応を理解させる。	部外講師
通信指令 コミュニケーション	3	通信指令員に必要なコミュニケーションスキルを修得させる。	部外講師
無線運用 報道対応	1	法令に基づく無線運用や機器取り扱い及び報道機関への災害情報提供要領等を理解させる。	部外講師
口頭指導要領 口頭指導 シミュレーション	4	口頭指導手順を理解した上で、119番通報に対し、緊急度と重症度に応じた出動指令に加えて、必要に応じて口頭指導を行うなどの実技シミュレーションを行い、通信指令員の対応した内容について検証及び評価を実施して、質の高い口頭指導技術を修得させる。	部外講師
図上訓練	4	大規模災害発生時の指令対応について図上訓練を行い、発災時の指令要領を修得させる。	部外講師
行事その他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	24		

(2) 消防団員

①幹部教育「初級幹部科」【 R6.10.5（土）～10.6（日）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話	1	初級幹部としての職責と心構えを理解させる。	消防学校
訓 練 礼 式	1	小隊編成と整頓、敬礼、通常点検の指揮要領の技能を修得させる。	消防学校
現 場 指 揮	3	現場指揮の重要性と効果、火災防ぎょ指揮要領と留意点の知識、建物火災現場指揮の技能を修得させる。	消防学校
防 災	2	災害対策基本法と消防団の役割及び地域防災計画に占める消防団の役割を理解させるとともに、大規模地震及び風水害に対応できる現場活動要領を修得させる。	消防学校
防 災 指 導 要 領	2	住民及び自主防災組織への消火訓練、避難訓練、救出・救護訓練等の指導要領を修得させる。	消防学校
安 全 管 理	2	消防団活動に伴う危険要因、事故予防対策、事故発生時の措置等についての知識を修得させる。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	12		

※教科目「現場指揮」に、実火災体験型訓練を含む。

※教科目「防災」に無償資機材訓練を含む。

②幹部教育「指揮幹部科」（現場指揮課程）【 R6.12.7（土）～12.8（日）】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講 話・現 場 指 揮 安 全 管 理	1	現場指揮者としての職責と心構え、現場指揮の重要性と効果、指揮要領と留意点、消防団活動に伴う危険要因、事故予防対策、事故発生時の措置等を理解させる。	消防学校
火 災 防 ぎ ょ 訓 練	2	大規模地震発生時における指揮要領、延焼拡大防止措置等の技能を修得させる。	消防学校
水 災 活 動 訓 練	2	風水害時の救助活動、指揮要領等の技能を修得させる。	消防学校
救 助・救 命 訓 練	4	倒壊家屋等からの救助救命、指揮要領等の技能を修得させる。	消防学校
避 難 誘 導 訓 練	2	大規模地震発生に伴う津波災害時等の避難誘導・避難広報等の技能を修得させる。	消防学校
災 害 情 報 収 集・ 伝 達 訓 練	1	他機関と連携した捜索活動、情報収集・伝達等の情報共有、検索救助活動における活動標示の活用等の技能を修得させる。	消防学校
地 域 防 災 指 導 訓 練	1	初期消火、応急手当、簡易な救助の指導方法を修得させる。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	14		

※教科目「火災防ぎょ訓練」に、実火災体験型訓練を含む。

※教科目「災害情報収集・伝達訓練」に無償資機材訓練を含む。

③ 幹部教育「指揮幹部科」(分団指揮課程)

ア 2日コース【R6.11.9(土)～11.10(日)】

教科目	時間数	目 標	予定講師
講話・組織制度 安全管理	2	分団指揮者としての職責と心構え、消防団組織の現況、活性化対策、公務災害補償制度の概要等を理解させる。	消防学校
防 災	3	災害対策基本法・地域防災計画と消防団の役割、長期化活動対策、惨事ストレス対策等に関する知識を修得させる。	消防学校
災害対応図上訓練	2	分団本部活動・管理運営要領、部隊等の安全管理、災害情報収集・伝達等の情報共有、他機関との連携等に関する知識と技能を修得させる。	消防学校
事 例 研 究	2	消防団の充実強化・活性化事例、安全管理事例等を研究し、消防団幹部としての資質の向上を図る。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	10		

※教科目「防災」に無償資機材訓練を含む。

イ 1日コース【R6.11.23(土)】

教科目	時間数	目 標	予定講師
災害対応図上訓練	2	分団本部活動・管理運営要領、部隊等の安全管理、災害情報収集・伝達等の情報共有、他機関との連携等に関する知識と技能を修得させる。	消防学校
事 例 研 究	2	消防団の充実強化・活性化事例、安全管理事例等を研究し、消防団幹部としての資質の向上を図る。	消防学校
効 果 測 定	1	組織制度、安全管理、防災等の理解度を確認する。	消防学校
行 事 そ の 他	1	入校式、修了式、オリエンテーション等	消防学校
計	6		

備考

分団指揮課程の1日コースについては、2日コースの教科目のうち「講話・組織制度・安全管理」及び「防災」について、消防学校以外の場所における教育訓練を受講し、消防学校において効果測定を実施することにより、消防学校における教育訓練の受講に代えるものとする。

④特別教育「消防操法研修」【R7.1.15(水) 1.21(火) 1.28(火)】

教科目	時間数	目 標	予定講師
訓 練 礼 式	1	訓練礼式の概要、各個・小隊訓練等の知識と技能を修得させる。	消防学校
消 防 ポ ン プ	1	消防ポンプの点検、取扱要領の知識と技能を修得させる。	消防学校
消 防 操 法 訓 練	4	消防操法実施要領に基づく実科訓練により、消防操法の技能を修得させる。	消防学校
行 事 そ の 他	1	オリエンテーション、修了証交付等	消防学校
計	7		

⑤特別教育「女性消防団員研修」 【 R6. 11. 2（土） 】

教科目	時間数	目 標	予定講師
防 災 対 策 安 全 管 理	1	防災対策、安全管理等の知識を修得させる。	消防学校
訓 練 礼 式	2	訓練礼式の概要、各個・小隊訓練の知識と技能を修得させる。	消防学校
地 域 防 災 指 導	3	応急手当、救護、搬送要領等の技能を修得させる。	消防学校
行 事 そ の 他	1	オリエンテーション、修了証交付等	消防学校
計	7		

※教科目「地域防災指導」に無償資機材訓練を含む。

⑥特別教育「消防団活動研修」 【 通年で3回実施 】

教科目	時間数	目 標	予定講師
消 防 団 活 動	6	消防団が希望する特定な課題・分野に対応する教育カリキュラムを企画・編成し、オーダーメイド型の教育訓練を実施することにより、消防団活動の活性化を図る。 (例) 火災防ぎょ活動要領、救助・救命要領、水災活動要領等	消防学校
行 事 そ の 他	1	オリエンテーション、修了証交付等	消防学校
計	7		

⑦特別教育「出前研修」 【 通年で3回実施 】

教科目	時間数	目 標	予定講師
防 災 対 策 全 般	3	消防団が希望する特定な課題や分野に関する知識を修得させる。 地域防災計画と消防団の役割等の知識を修得させる。	消防学校
計	3		

⑧特別教育「消防団員指導員研修」 【 R6. 10. 19（土）～10. 20（日） 】

教科目	時間数	目 標	予定講師
幹 部 指 導 員 の 心 得 現 場 指 揮 ・ 安 全 管 理	2	幹部指導員としての心得、現場指揮、安全管理の知識を修得させる。	消防学校
防 災 対 策 ・ 住 民 指 導 災 害 情 報 収 集 ・ 伝 達	3	防災対策、国民保護及び住民指導、災害情報収集・伝達要領に関する知識を修得させる。	消防学校
火 災 防 ぎ ょ 活 動 救 助 活 動 指 導 要 領	4	火災防ぎょ活動、救助活動の指導要領の技能を修得させる。	消防学校
訓 練 礼 式 ・ 救 命 活 動 水 災 活 動 指 導 要 領	3	訓練礼式、救命活動、水災活動の指導要領の技能を修得させる。	消防学校
行 事 そ の 他	1	開校式、閉校式、オリエンテーション等	消防学校
計	13		

(3) 地域防災リーダー

スキルアップ実技講座【 R6. 8. 10 (土) 9. 28 (土) 10. 26 (土) 】

教科目	時間数	目 標	予定講師
安 全 管 理	1	安全な防災活動についての知識を習得させる。	消防学校
浸 水 対 応 訓 練	2	浸水対応の知識と技能を習得させる。	消防学校
防 災 活 動 実 技 訓 練	2	防災活動実技訓練及び火災煙体験の技能を習得させる。	消防学校 部外講師
行 事 そ の 他	1	オリエンテーション等	消防学校
計	6		

令和6年度 教育訓練日程割付表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
6年 4月	初任教育																													
	入校式																													
5月	初任教育																													
	校外訓練																													
6月	初任教育																													
	無線																													
7月	初任教育																													
	救助大会																													
8月	初任教育																													
	実務研修(所属研修)																													
徳島研修																														
東予防災																														
9月	初任教育																													
	発表会																													
振替																														
視察研修																														
卒業式																														
専科教育 救助科																														
中予防災																														
10月	専科教育 救助科																													
	校外研修																													
専科教育 救助科																														
専科教育 警防科																														
幹部教育 初級幹部																														
団指導員研修																														
南予防災																														
11月	専科教育 警防科																													
	幹部教育 初級幹部科																													
専科教育 予防査察科																														
女性団員																														
分団 2日																														
分団 1日																														
12月	専科教育 予防査察科																													
	専科教育 火災調査科																													
現場指揮																														
7年 1月	専科教育 救急科																													
	団操法																													
2月	専科教育 救急科																													
	病院実習 同乗研修																													
専科教育 准救急科																														
病院所属																														
実火災																														
実火災																														
実火災																														
実火災																														
3月	専科教育 救急科																													
	通信指令員 業務研修																													
専科教育 准救急科																														